

市民企画会議 がりょうばい 片平のひびき～臥竜梅コンサート

片平市民センター

1 事業概要

片平市民センターは、合唱団体の利用が多く、例年合唱を中心としたコンサートを開催していました。コロナ禍の中、各団体の活動が制限されている中で、令和3年度は、新しい生活様式の下でのコンサートを市民の皆さんの意見を取り入れ開催するため、企画員を公募するところから始めました。申し込みのあった3人の企画員は、音楽への造詣が深い方ばかりで、音楽での癒しと交流を提供する目的を達成するため、どのようなコンサートを企画したらよいか意見を出し合い、どのようにすれば出演者も来場者も喜ぶコンサートができるかを考えながら、企画会を行いました。会場のレイアウトまで気を配り、リハーサルにも全員が参加するなどしてコンサートは無事終了しました。また、地域資源でもある「片平公園の臥竜梅」についても市民に知っていただく良い機会となりました。



2 今年度の活動

市民センターだより6月号に企画員募集の案内を掲載。7月7日に第1回企画会を開催し、コンサートのジャンルや内容を決めました。8月5日の第2回企画会では、出演を依頼した団体の参加の有無をはじめ、今後のスケジュールやポスターなどについて話し合いを経て、ピアノ・ギター・お箏による主催事業「片平のひびき～臥竜梅コンサート」開催が正式に決定しました。以後第3回企画会、リハーサル、書面開催による反省会を行いました。



3 成果と課題

地域住民でもある企画員の発想を活かして、地域で音楽活動をしている方々が、ジャンルの垣根を超えて集まり、日頃同時に演奏されることの少ない和楽器と洋楽器がコラボしたコンサートを開催できました。生演奏での音楽の提供は、参加者の癒しにつながり、コロナ禍で分断されていた地域住民同士が、会場で久しぶりに旧交を温め合う姿が各所で見られました。また、和楽器と洋楽器の違いがありますが、ピアノ、ギター、お箏の「弦」のつながりから、音楽を通した地域の絆が生まれました。換気で扉を常に開けていたため、寒いなどの意見があり、課題が見えました。



4 今後の展望

企画員たちからの感想では、「大変良かった」「いい経験をした」と述べています。今回の企画会への参加には、それぞれが自分たちの活動の発表の場を求めて応募したという側面もあったかもしれませんが、地域の音楽の新たな絆が生まれています。実際に同じ企画会に参加し、活動を通して得た経験をもとに、今後は地域のみならず広げていくきっかけとなればと考えます。片平市民センターでは、令和4年度も市民企画会でコンサートを開催する予定です。

